

# THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO-GREEN

# 東京グリーン

CHARTERED 1973

< 2018.03 >

BULLETIN

2017年7月～2018年6月



国際会長  
アジア会長  
東日本区理事  
関東東部部長  
クラブ会長

Henry J Grindheim「ともに、光の中を歩もう」(ノルウエー)  
Tung Ming Hsiao「ワイズ運動を尊重しよう」(台湾)  
栗本治郎「広げようワイズの仲間」(熱海)  
長尾昌男「義務を果たして、クラブと関東東部の活性化を図ろう」(千葉)  
浅見隆夫「親睦なくして奉仕はない」(グリーン)

会長 浅見 隆夫  
副会長 西澤 紘一  
書記 目黒 卓  
書記 布上征一郎  
会計 浅見 クミ子  
会計 佐野 守  
監事 柿沼 敬喜  
担当主事 松本 竹弘

## 3月 受難節(レント)

「イエスは苦しみもだえ、いよいよ切に祈られた。汗が血の滴のように地面に落ちた。イエスが祈り終わって立ち上がり、弟子たちのところに戻ってご覧になると、彼らは悲しみの果てに眠り込んでいた。」

(ルカによる福音書22:44-45)

## 2018年03月 第一例会

## BF & メネット 強調 月 間

### 東京グリーンワイズメンズクラブ 設立45周年記念例会

日時:2018年03月21日(水) 13:00~17:00

場所:オーラム/AURUM 台東区東上野 1-26-2

受付:クラブ一同

第1部 記念式典 司会 布上君

開会点鐘 浅見会長

ソング・ワイズの信条 全員

聖句・お祈り 古平君

来賓紹介 来賓祝辞

入会式「西本晃子さん」 司式 浅見会長

「森川正子さん」 立会人 藤井 伸

\*ほかに4名の皆様に立会をお願いしました

閉会点鐘 浅見会長

第2部 記念講演 司会 目黒君

小澤 弘 氏「城郭都市江戸と水辺の風景」

第3部 記念祝会 司会 青木君

来賓祝辞

会食/アトラクション「かつぼれ」櫻川后姫社中

献金 記念品贈呈 東京YMCAへ

Happy Birthday (3月生まれのワイズにお祝いを)

閉会挨拶 実行委員長 柿沼 君



3月の例会は「クラブ設立45周年記念例会」です。

グリーンクラブにはメネット会はありませんが、メン、ウイメン、メネットに拘わらずこの記念例会にも全員で、平等に参加協力、和やかに活動しています。おかげさまで大勢のワイズの皆様にご参加いただきました。ありがとうございました。

\*\*\*\*\*

### BF<Brotherhood Fund>

BF代表や国際役員が公式の旅行をするために積み立てられる基金。東日本区では各クラブBF目標献金額2000円/名以上、区の総額では200万円くらいとしています。

### BF代表<Delegate>

BFから旅費が支給され、ある地域(区)から他地域(区)を公式訪問する代表者。規定額以上のBF献金をしているクラブからBF代表(フルグラント)に応募できます。3~5週間の決められた日程・地域を訪問する義務があります。また、国際、地域大会への費用の一部が支給されるBF代表枠(パーシャルグラント)もあり公募されます。(布上 記)

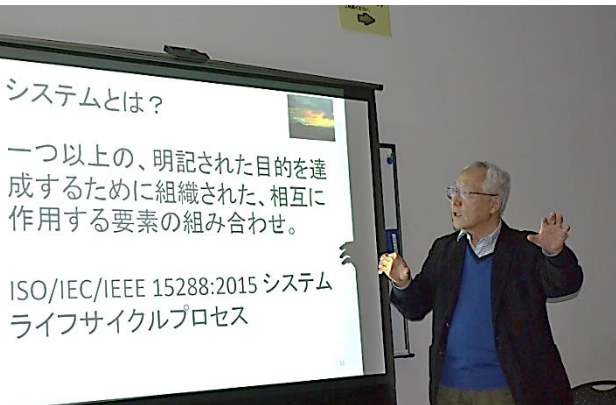
【例会出席率】 在籍:17名(含広義会員1名) メーキャップ 2名 出席率 14/16 88%

出席:2月例会(メン12名、メネット1名、ビジター2名)計15名

【ニコニコ】 2月 13,000円 累計 60,000円

＜2018年02月 第一例会 報告＞

日時:2018年2月21日(水) 18:30~21:30  
場所:千代田区和泉橋区民館 2F  
出席:青木・浅見(隆)・浅見(ク)・柿沼・古平・佐野  
新倉・西澤・布上(征)・平林・松本・目黒  
メネット:布上(信) ゲスト:森川正子さん



本日のゲストスピーカーは西澤メンの紹介でお招きした新谷勝利氏(新谷ITコンサルティング)。京大から日本IBM、そして(国際NPO)AFS日本協会、現在は(独)情報処理推進機構・・・要するにシステムエンジニアリングの推進、ソフトウェアに関わる国際標準開発、JIS化、ソフトウェア開発のあり方(FBグループ主宰)・・・と自己紹介されたので、出席メンバー、一同“身構える”ことに。

さて、お話が進み、専門用語が一杯でアタマがついていきません。タイトルの「ソフトウェアって何?」という演題は何となく砕いてお話をいただけるかと期待しましたが、どんどんお話される「単語」、それって「何?」となってしまいます。更に「パスワード buzzword」となると「藪の中」に迷うこととなります。しかし、機能・ソフトウェア・システム・データ・・・を使って、それらが現代の世界の仕組みを作っている事は十分に理解しているつもりです。

さて、3月21日のクラブ45周年記念例会を翌月に控えて、メンバー、何となく真剣な例会となっています。そして今回、水辺ラインでのガイド仲間、森川正子さんが入会していただけることになり、3/21の記念例会で入会式を執り行うことになりました。西本晃子メネットもメンとして入会をされるので本当にありがたく、おめでたい記念会になります。

今月のHappy Birthdayは柿沼メン。また、高谷メネット、西本メン、西本メネットは2月に該当していますが本日は欠席でした。記念会の実行委員長は柿沼監事です。浅見会長と共に采配を振るっていただきます。



(布上 記)

＜2018年02月 第二例会 報告＞

日時:2018年2月14日(水)18:00~20:30  
場所:千代田区和泉橋区民館 4F  
出席:青木・浅見 K・浅見 T・柿沼・佐野・古平・布上S  
平林・目黒・松本 メネット:古平(邦)・布上N

1. 配布資料

- ① 2月ブリテン/チャリティゴルフ チラシ/ 神田川チラシ(布上)
- ② 45周年資料(柿沼) ③ 神田川資料(目黒)

2. 報告・連絡事項

- ①年賀はがきお年玉切手シート当選番号 27 86
- ②東日本区費 送金完了
- ③4部合同 EMCシンポジウム 参加 浅見T 布上S 2月17日(土)13:30~16:30 東京山手YMCA
- ④妙高高原ロッジさよならパーティー 3月6日~8日
- ⑤次期会長研修会・部役員研修会 3月3日~4日 東京YMCA 東山荘 グリーン不参加
- ⑥奈良 傳 賞推薦の件
- ⑦神田川船の会の件(77回チラシ配布・了承 松本主事、印刷を)

\* 閉じ込め資料(冊子追加)早瀬メン作成文の進行状況  
\* ホームページ変更 従来のページを閉鎖⇒ 東京YMCA内の神田川ページへ移行済

⑧45周年関連

- \* クラブユニホームとして「神田川半纏」発注 メンバーは購入@5000- メネットは貸与
- \* 参加者(12日現在) お土産 神田川煎餅/クッキー/紙袋(サンプル)
- \* 名札、出席者にメールで持参をお願いする
- \* プログラム(原案配布・布上作成)/時間割検討 (柿沼委員長)
- \* 行事当日の役割分担 柿沼原案で了承

- ④東日本区大会(沼津)HP開設 募集開始 出席者8名(ホテルは青木メンに依頼)
- ⑤その他 2月ゲストスピーカー 新谷氏 了承 (西澤副会長紹介)

3. 審議・協議事項

- ①「ちよっとボール」用具一式贈呈先の件 45記念例会で東京YMCAに目録贈呈 \* 役員会で古平メンゲーム実演
- ② 4月ゲストスピーカー 梶本晃氏 了承

(布上 記)

梶本 晃 氏 プロフィール



昭和48年京大経済学部卒、同年朝日新聞社入社。朝日新聞論説委員(担当は社会保障と政治)。以来、週刊朝日副編集長、朝日新聞政治部政治面編集長などを歴任し、平成15年より現職:独立行政

法人国立病院機構非常勤理事/ 明治大学専門職大学院ガバナンス研究科兼任講師 演題は「団塊の世代は生きのびられるのか?」 副題は「今そこにある危機・医療介護の2025年問題」





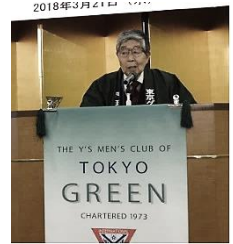
# 東京グリーンクラブ設立45周年記念例会

2018年3月21日(水) / オーラム・AURUM / 13:00~17:30

\*\*\*\*\*ご出席の皆様にご心より感謝申し上げます\*\*\*\*\*



Am10:00 にクラブ員全員集合  
受付設営と当日の役割再確認、  
配布資料確認。この日に合わせて  
作ったお揃いの半纏で140名の  
ワイズの皆様をお迎えしました。



## 第1部 記念式典

浅見会長の開会点鐘／歓迎の言葉

古平メンの聖句・祈祷



来賓祝辞

栗本治郎東日本区理事

星野太郎東京 YMCA 副総主事



【入会式】2名の入会者

西本晃子さん・森川正子さん

司式：浅見会長

立合：藤井寛敏様／高田一彦様  
／栗本治郎様／長尾昌男様  
／田中博之様の錚々たる皆様  
にお願い致しました。



## 第2部 記念講演

入会式での立会人代表で  
藤井寛敏元国際会長  
祝辞



小澤 弘 先生 江戸東京博物館名誉研究員  
演題「城郭都市江戸と水辺の風景」

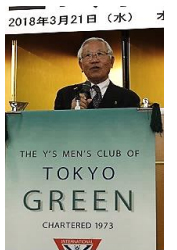
<貴重な画像満載!! 素晴らしい講演でした>

\*\*\*\*\*

## 第3部 記念祝会



祝辞：DBC 京都パレスクラブ  
笹山直世会長  
須藤功次  
東京都公園協会  
水辺事業部長  
乾杯・挨拶：宮内友弥  
東日本区次期理事



ハッピーバースデー



<かつぽれ>熱演の皆さん



献金贈呈

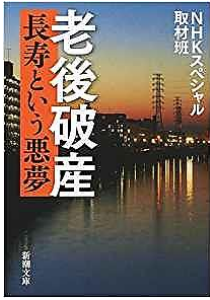


閉会挨拶 柿沼実行委員長



## 第45回「老後破産」

NHK スペシャル取材班 (2018年2月)



2025年問題(団塊世代がすべて後期高齢者になる年度)が声高に叫ばれている時期に呼応して、2014年9月28日「NHK スペシャル:老人漂流社会」老後破産の現実」が放映された。放送後、多くのコメントが寄せられ関心の高さを知ったNHK取材班がその後のインタビューや調査を継続して最近単行本にまとめたものが「老後破産」である。現役で働

いているときは、老後のことなどにあまり関心が無かった普通の人たちでも年金生活に入りさらに健康問題を抱えるとあつという間に破産状態になることがいくつかの事例で紹介されている。

全体は5章に分かれていてどれも深刻な問題提起をしており、他山の石とするには残酷すぎるかも知れない。

第1章(都市部の独居高齢者):特に自営業や中小企業での積み立ての少なかった年金受給者の困窮が目立つ。生活保護費が年金を上回っている現実があるが、なかなか受給要件に適合しない。さらに迷惑を掛けたくないとのプライドがますます受給から遠ざかっている。

第2章(夢をもてない高齢者たち):介護保険の個人負担分さえ払えなくてその恩恵が受けられない。家族の存在がネックになることもある。

第3章(老後破産の原因):生活保護制度の課題、自宅の有無、預金の有無、持病の有無、受給をためらう高齢者。第4章(地方での老後破産):豊かな田舎生活が必ずしも安定をもたらさない、自給自足の限界、地方での独居高齢者の不便さ。第5章(老後破産の予備軍):家族、親族の理解が得られない苦しさ。失業息子との同居で共倒れ、介護離職の後日談、老後破産の連鎖。

さすがの大組織NHKだけに、各種調査資料、数値などを良く調べて全体を把握しつつ、個別事例を丁寧にリストアップさせている。自分の周りを見ても何人か思い当たる家庭があることに驚く。確実に迫る高齢化社会、乏しい年金で生活はできたとしても自分や配偶者、子供などの病気や失業を背負い込むと一挙に困窮度が進む。1961年に始まったとされる年金制度は世代間の相互扶助、さらに家族が世話をすると的前提に立った制度設計がされている。老後の生活を安定させる年金制度ではない。さらに医療費との連動もしていないので、困窮者(支払い能力の低い人)ほど病気になるやすく医療費がかかる。フランスでは、一定の生活費部分を保障して、その水準を超える医療費は減免しているという。

この本を読むとみらいの自分や次世代の家族の行く末が見えるようで、妙にリアリティがある。今般、医療、介護などをジャーナリストとして見てこられた梶本さんを招いて卓話をお願いしたが、若い世代にはもちろんであるが、高齢者への目配りも考えなければならない時代に来たのかも知れない。(西澤紘一 記)

## ▼陽春の集い



学校の先生方が元氣よく餅をついてくれました。



毎年、落語は席取りするほど大人気の催しです。

過ぎました。募金・寄付金の46,402円は東日本大震災支援に用いさせていただきます。

## ▼新生東陽町センター



今年も長蛇の列でした。多くのボランティアが活躍しました。

現在、東陽町センター1・2階を東京YMCAが賃貸再契約し、改装工事が進んでいます。2階にインターナショナルスクールの教室が移り、1階の旧Wellの一部をYMホールとして使用するなど、仕様が変わります。また「東陽町コミュニティセンター」は1階に事務所を構え、新年度から「おもちゃ病院」や「下町こどもダイニング」などの新規プログラムを展開していく予定です。ゴールドジムから委託をされた水泳とテニス事業については「ウエルネス東陽町」に名称を変更して東京YMCAが運営を継続します。今後も東陽町センターは今までと同様に地域活動を続けていきます。

(主事 松本竹弘 記)

3月24日(土)東陽町センターで陽春の集いを開催しました。近隣の高齢者が123名来館し、福餅を味わい、落語や昔遊びを楽しみました。地域の老人

クラブから多数の参加があり、地元根付いたコミュニティ活動である事を認識させられました。また、Yわい歌の広場の参加者も多く来場されました。東陽町コミュニティ委員、会員、ワイズメンズクラブ、学校の先

生方など20名以上のボランティアに支えられ楽しい時間を